

ゆきもよい

伊丹空港発、福島空港行きの飛行機内、ある大雪の日。

乗客たち（夫婦、母と子、男1,2、女1,2、彼氏と彼女、などなど）

CA（3人）

機長

副操縦士

乗客がまばらに乗っている。乗客たちの声が漏れ聞こえる。CAは荷物入れがしっかりと閉まっているか、手荷物が膝の上にはないか（あれば前の椅子の下や荷物入れに入れるように促す）、シートベルトが閉まっているかをチェックするために巡回している。また別のCAは毛布を片手に歩いている（必要な乗客はもらう）。

CA「今日は伊丹空港発、福島空港行きをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。今日は大雪の影響による滑走路の除雪作業のため、出発時間が大幅に遅れましたことをお詫びいたします。なお当便の機長は藤原、チーフパーサーは山崎でございます。御用がございましたら遠慮なく客室乗務員へお知らせください。只今からこの飛行機の非常用設備をご案内いたします。お近くの客室乗務員をご覧ください」

CA、手話のように身振り手振りを交えて説明をする。

CA「まずシートベルトの使用方法について説明いたします。シートベルトを締める場合は左右のベルトについている留め金を差し込み、腰の低い位置にしっかりと締めてください。外す場合はレバーを上げながら留め金を離してください。この飛行機には前方、中央、および後方に非常口があります。お近くの非常口をお確かめください。続いて酸素マスクの使用方法を説明いたします。酸素マスクは必要な時に自動的に出てきます。マスクを強く引くと酸素が出てきます。マスクを鼻と口に当て、バンドを頭にかけて長さを調節してください。救命胴衣は座席下、または肘掛下にあります。使用の際は頭から被り、金具を留め金にかけ、紐を引いてしっかりと締めます。非常口で乗務員の指示に従って、引き手を強く引いて、膨らませてください。十分に膨らまない時はチューブから息を吹き込みます。皆様の座席ポケットに安全姿勢等（とう）についての説明書が用意してありますので、早い機会にご覧ください。当機はまもなく離陸いたします」

母「すいません、イヤホンください」

CA「かしこまりました、少々お待ち下さい」

戻ってきて。

CA「どうぞ（渡す）」

母「（受け取り）ありがとうございます」

CA「それからこちら、お子様に風船です（子に渡す）。膨らませてみてください」

母「ありがとうございます。良かったね、ほら、ありがとうって」

子「（そっぽを向く）」

母「すいません」

CA「いえ」
母「できる？」

子、膨らまそうとするが、できない。母、子から風船を取ろうとする。

母「貸して」
子「やだ、できるもん」
母「ほら」

子、風船を母に渡す。母、風船を膨らませて

母「飛行機だよ。（風船を持って）びゅーん、びゅーん」
子「プリキュア聞きたい」
母「プリキュア？（備え付けの雑誌を見て）うーんと、アンパンマンはあるよ」
子「やだ、プリキュアないの」
母「うーん」

子、イヤホンをつけて音楽を聞く。

母「聞こえる？」

子、安室奈美恵の Hero を口ずさむ。

母「（人差し指を立てて）しー、（少し微笑んで）ママにも聞かして」
子「じゃあ一個だけだよ」

母と子、イヤホンを分け合って音楽を聞く。子、母の肩を叩いて外を指さす。飛行機が離陸する。乗客たちも窓の外を見る。

子「（風船を持って）びゅーん」

CA「お客様にお知らせします。只今、シートベルトの着用サインが消えましたが、飛行中は突然揺れる場合もございます。お客様の安全のためシートベルトはしっかりとお締め下さい」

彼氏と彼女、備え付けの雑誌を見てイチャイチャしている。

彼氏「これ、かわいくね、マジで」
彼女「うん、かわいいー」

微笑みあう二人。彼氏、雑誌から視線を移し、窓の外を見て。

彼氏「え、マジかよ、快晴。ばねー」
彼女「ほんとだー」
彼氏「やべー、雲の上サイコー」

彼氏「（スマホを取り出し）ねえ、ちょこっち向いて、向いてみ、向いて向いて。はーい、カシャ（シャッターを切る）、かわいいー。インスタあげていい？」

彼女「(写真を見て) えーブスじゃん」
彼氏「めっちゃかわいいよ」
彼女「そうかな」
彼氏「うん、かわいい。あの子に似てる」
彼女「え、誰々？」
彼氏「えっとね (スマホで画像を探す)」

彼氏と彼女イチャイチャして微笑んでいる。

CA「お飲み物はいかがですか、コーヒー、コンソメスープ、りんごジュース、暖かいお茶、ミネラルウォーターがございます」

CAがワゴンを押しながらやってくる。乗客たちはそれぞれ飲み物をもらう(前の机を倒す)。夫はビールを購入する(おつまみ付き)。

男1「あの、ご出身はどちらですか？」
CA「ああ私ですか、私は山形です」
男1「ああ、そうですか、福島と鹿児島の方っていないですよね」
CA「申し訳ありません、あとの二人は大阪と兵庫です」
男1「(落胆して) ああそうか、やっぱりそうか」
CA「一応、お持ちしますか？」
男1「あ、はい、お願いします」
男2「あの、すみません、私にもください」
CA「かしこまりました(去る)」

男2「(鞆からファイルを取り出して自慢げに) 私のコレクション、見ます？」
男1「ああ、はい。(ファイルを受け取り) どうも。(パラパラ見て) あれ、福島じゃないですか、え、どこで手に入れたんですか？」
男2「沖縄行きです、羽田発の。いやー偶然でした(少し微笑む)」
男1「あーそうですかー」
男2「いえいえ、私もまだまだなんですけどね、山形は持ってなかったんで、ええ」
男1「いや、私、福島と鹿児島だけなんですよ、あと」
男2「え、あーそうですかー、へーそれはすごい」
男1「いやいや、今日もわざわざ伊丹から乗ったんですけど、福島狙いで」
男2「あーやりますよねー」
男1「お仕事ですか？」
男2「ええ、今日は仕事です」

彼氏「(雑誌を見ながら) すみません、あの、これなんすけど、この、名前入れるつつうやつ？あの、これって今入れれるんすか？あの、これ、めっちゃかわいくないすか」
CA「えっと、ですね、こちらはインターネットで注文してご自宅へお届けする形になります」
彼女「たっくん、書いてるよ、ほら」
彼氏「え、マジで、どこどこ」
彼女「(雑誌の文字を指差す)」
彼氏「あ、文字ちっちゃええし、文字ちっちゃええし」
CA「すみません。(少し微笑んで) このテディベアかわいいですよ」
彼氏「あの、じゃあ、えっとー、(ページをめくり) このスケルトンの鞆はここで買えるん

すか？」

CA「はい、こちらでしたら機内でお買い求めできます」

彼氏「……ちょっと考えます」

CA「かしこまりました」

機長「皆様こんにちは、機長の藤原です。只今管制塔より連絡が入りまして、雪による、えー福島空港の視界不良、及び滑走路の除雪作業によりまして、上空で待機することとなりました。えー旋回飛行の後（のち）、着陸許可が出次第、着陸態勢へと移ります。皆様におかれましては、お急ぎのところ申し訳ありません。場合によりましては伊丹空港へ引き返す場合もございます。えーご了承いただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします」

乗客たち「えー」「マジでー」「嘘ー」「嘘やろ」「ちょっとー」という声を出したり、不安げに話したりする。夫、客室乗務員呼び出しボタンを押す、CAがやってくる。

CA「お客様、何か御用ですか？」

夫「あの、(笑って) おかしな話やけどな。あの確率ゆうか、どれくらいの確率で戻んの？」

CA「そうですね、えー今、着陸準備を進めている最中でして、お客様の安全が確認でき次第、ですね、はい」

夫「(少し怒って) それはわかるよ、わかってるよ。せやからどれくらいの確率で戻んの？」

妻「すいません。今、空港にタクシー待たせて。出発も遅れたやないですか」

CA「申し訳ありません、この大雪で」

夫「せや、さっき何やゆうてたけど、口説かれたん？」

CA「いえ、そのようなことは」

妻「(少し微笑んで) も一飲みすぎやで、困ってるやん」

夫「いや、さっき出身がどうこうゆうてたやん」

CA「ああ(ポケットからシールを取り出して) これ、都道府県シールと言いまして、客室乗務員の出身地のシールなんです。よかったらどうぞ(渡す)」

夫「(受け取り) へー、大阪なん、(笑って) 同じやん」

CA「他のシールもお持ちしますか？山形と兵庫ですが」

夫「ええよええよありがとう、(ネームプレートを見て) 山崎さん、着陸頑張ってるな」

CA「ああ、はい、かしこまりました」

機長「皆様、機長の藤原です。えー只今管制塔から連絡が入りまして、着陸許可がおりました。えー今から着陸態勢に入ります。なお、安全のため客室乗務員も着席して下さい」

機内より「よかったー」「よかったねー」「ほんま助かったわー」などと安堵の声が漏れる。

女1「よかったね」

女2「ね、私遺書書きかけたもん」

女1「えっ、なにそれ(笑って) 大げさだよ」

女2「いや私飛行機苦手でさ、だっておかしいじゃん、こんなことって」

女1「そうかな」

女2「だって、考えてよ、こうやって座りながら、空飛んでんだよ」

女1「あー」

女2「なんかうまく言えないけどさ、神様に反してるっていうか、飛行機が飛ぶ原理って説明されてないの知ってる？」

女1「え、そうなの」

女2「うん、らしいよ」

女1「(鼻をふんふんしたり、耳を気にして) あ、なんか」
女2「ん？」
女1「キーンって」
女2「空気入ったんじゃない、鼻つまんでふーんって」
女1「(空気抜きを何回かする) うん、なんかあるわ、まだ」
女2「(鞆の中を探して) 飴、あったかな……(見つけて) あ、チョコ食べる？」
女1「ああ、ありがと、(食べて、笑う) 全然味しない、詰まってて」
女2「(笑う。暫くして真顔になる) ……ん！？(キョロキョロと周りや自分を見る)」
女1「え、なにになに」
女2「いや、え？」
女1「え、なにになに、怖いんですけど」
女2「いや、ごめん、なんか……え、洋子、だよ」
女1「え、そうだけど」
女2「初めて、だよ、一緒に飛行機乗ったの」
女1「え、そうだけど、え、なにになに」
女2「いや、なんか、前にも同じことがあったような」
女1「(笑って) もーしっかりしてよ、せっかくの温泉旅行なんだから」

暫くして、気流により大きく揺れる機内、乗客から驚きの声が漏れる。

CA「皆様、気流の影響で揺れております。シートベルトは緩みのないようしっかりとお締め下さい。なお、大きく揺れましても飛行には影響ございません。どうぞご安心ください」

気流により、機内は何度か揺れる。子は眠っている。

(了)